

参加報告書

- 参加プログラム：英語現地実習・ケント大学
- 学部・学科：経済学部経済学科
- 留学時の学年：3年

留学の目的は、英語力を向上させることと、海外の人や文化に触れることでした。留学中はなるべく英語を使うことを意識し、日本人同士でも英語で会話するようにしました。わからない表現はChatGPTで調べたり、友人と確認し合ったりして学びを深めました。また、現地の人との交流を大切にし、休日や空き時間には積極的に外出して、大学近くの町やジム、ロンドンなどに足を運びました。その結果、現地の友人を作ることもできました。

イギリスについてまず印象的だったのは気候の快適さです。湿度が低く、風も涼しいため毎日外に出しやすく、夜8時頃まで明るいことにも驚きました。さらに、現地の人々のフレンドリーさ、美しい歴史的建築物、多様な人種、路上のごみ箱の多さなど、日本とは異なる点を多く体験しました。現地を観光してみると、写真では伝わらない迫力、感動があり、現地に実際に足を運ぶ重要性を感じました。一方で、物価や特に交通費の高さ、お店の閉店時間の早さ、食事の栄養、味のバランスの違いには戸惑いました。改めて日本の食文化や生活の便利さを実感しました。

授業を通して「英語で英語を学ぶこと」の重要性を理解しました。日本でも英語での英語学習を実践していきたいです。リスニング力は特に伸び、苦戦していたイギリス英語のアクセントも聞き取れるようになりました。スピーキング力も向上し、以前は英語を話すことに恥ずかしさを感じていましたが、今では積極的に話したいと思えるようになりました。また、日本の「常識」が海外では異なることを体感し、自分の価値観を柔軟にすることことができました。

今回の経験を通じて、将来的に長期留学にも挑戦したいと強く思うようになりました。具体的には、4年次に1年間休学し、カナダへの留学を計画しています。そのため、イギリスで購入した文法・単語の問題集や英語書籍を活用して、さらなる英語力向上を目指します。今回の留学は、今後の人生の目標を明確にし、大学生活に対する新たな意欲を与えてくれました。さらに新しい友人と出会いも、今後の大きな支えになると感じています。

このような貴重な経験をさせていただいたことに、心から感謝しています。